

石油連盟 2012年 10大ニュース



1. エネルギー政策の迷走

- ・「革新的エネルギー・環境戦略」策定後、速やかに策定予定となっていた「エネルギー基本計画」は、同戦略の迷走に加え、衆議院解散もあり、棚上げ状態に。
- ・一方、石連はエネルギー政策に係る提言を発表し、「石油の重要性、エネルギー間の公平な競争環境の整備、供給安定型電源としての石油火力の再評価」等を主張。

2. 改正石油備蓄法施行(11月1日)

「国備の放出を含めた発動要件の見直し、災害時石油連携計画の策定義務付け、国家製品備蓄の拡充等」による災害時の石油供給体制の一層の強化が目的。

3. 石油諸税への対応

- ・8月、「税制抜本改革法」が成立、消費税増税が決定。10月より石油石炭税が増税。
- ・11月、全石連と共同で「石油増税反対総決起大会」を開催。

4. 広報スローガン「石油の力。」や自治体への働きかけを展開

新スローガンの下、石油の重要性や役割を訴える広報活動を展開するとともに、自治体への「避難施設所での災害時に強い石油利用の提案」を全石連等と推進。

5. イラン制裁による原油輸入減少

イラン核開発問題を巡る欧米の制裁措置等に協力し、イラン産原油輸入量を削減。

6. シェールガス・シェールオイル革命

北米での生産量は急増。非在来型石油資源の開発により石油可採埋蔵量は増加。

7. 高度化法による精製能力削減の進展

コスモ石油は2013年7月に坂出製油所の閉鎖、JX日鉱日石エネルギーは2014年3月に室蘭製油所の原油処理停止を決定。

8. 原発稼働停止に伴う石油火力稼働増加

原発停止に伴う電力不足を受け、供給安定型電源である石油火力の稼働が増加。

9. 「製油所の安全確保策に関する検討会」の設置

製油所でのトラブル増加を踏まえ、安全確保向上策の検討を開始。

10. 石油連盟 新会長就任(5月28日)

第20代会長に、木村康 JX日鉱日石エネルギー(株)代表取締役社長が就任。